

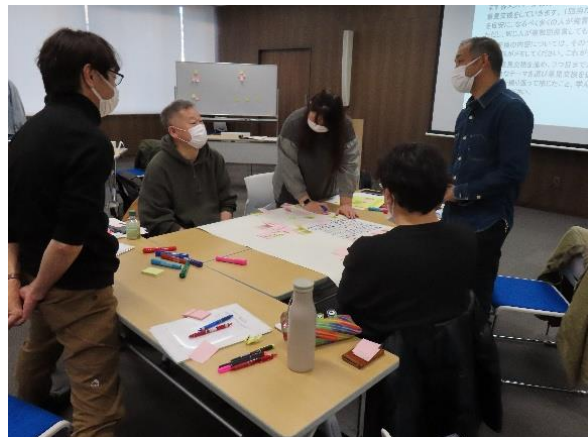
令和6年度千葉県災害福祉支援チーム（DWAT）フォローアップ研修を開催しました

令和7年1月11日・1月21日に令和6年度千葉県災害福祉支援チーム（DWAT）フォローアップ研修（第1回・第2回）が開催され、計63名が参加しました。講師は各回、京都府DWAT所属、華頂短期大学 教授 武田康晴氏で、『災害派遣福祉チームDWATの活動～災害時用配慮者について考える～』をテーマとした講義では『災害時要配慮者』とは要支援・要介護でない平時の社会的弱者が、災害時には『要配慮者』になるという内容でした。講義の後、能登派遣の経験者が登壇され、第1回目は旭市中央地域包括支援センター長 井上氏、第2回目は障害者支援施設永幸苑 サービス管理責任者山田氏が能登でのDWATの活動について語りました。

次にグループワークでは、自己紹介の後に各グループで班長を決め、模造紙にキーワードを付箋で貼り、これをもとに話し合いをしました。また、ポスターセッションを通して、他の班の情報収集をすることで活発な話し合いが出来ました。



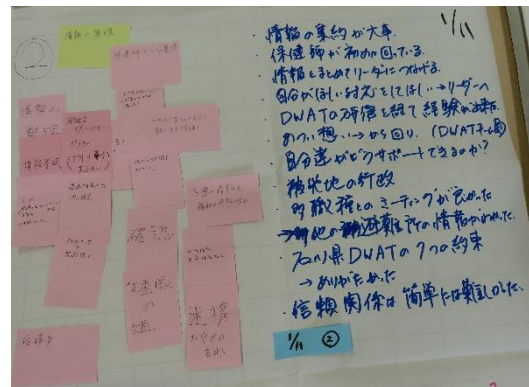
講義中 武田教授



グループ内で話し合い



模造紙にキーワードや意見を付箋で貼る



模造紙の内容